

「枚岡医師会学術講演会」のご案内

先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、下記の要領にて枚岡医師会学術講演会を開催させていただきます。

ご多忙の折とは存じますが、何卒ご聴講賜りますようご案内申し上げます。
なお、ご来館頂けない先生のために Web 配信も行っておりますので、会員の先生方は是非ご利用頂きますようお願い致します。

枚岡医師会 会長 五島 淳
学術担当理事 平田一人

----- 記 -----

日 時：令和 7 年 3 月 18 日（火）14：15 ～（14:00 からの常会終了後）

場 所：枚岡医師会館（東大阪市旭町 3－2 喜里ビル 2 階 TEL 072-985-7126）

【製品紹介】 14：15～14：30

「爪白癬の現状とエフィナコナゾールに関する最新の話題」
科研製薬（株）

【特別講演】 14：30～15：30

座長 石切生喜病院 病院長 平田 一人 先生

「 胃がん治療の展望 」

演者 石切生喜病院 消化器外科 副部長
加藤 幸裕 先生

- ※ 本講演会は、大阪府医師会生涯教育指定講演会のため、当日は生涯研修チケットをご持参下さい。
- ※ 大阪府医師会生涯教育研修 1 単位【カリキュラムコード：84 最新のトピックス・その他】
- ※ 当日は、ご参加いただいた確認のため、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。
尚、ご記帳頂いたご施設名、ご芳名は医薬品および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただきます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- ※ Web 受講を希望されます場合は、①ご芳名②メールアドレス③生涯研修チケット番号を
事前にお知らせ下さい。送信先 info@hiraoka-med.or.jp

共催 枚岡医師会 科研製薬（株）

詳細は電子添文をご参照ください。電子添文の改訂に十分ご留意ください。

日本標準商品分類番号 87629

爪白癬治療剤

エフィナコナゾール外用液

クレナフィン® 爪外用液10%

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

CLENAFIN® Topical Solution 10%

薬価基準収載

承認番号	22600AMX00739000
薬価基準収載	2014年9月
販売開始	2014年9月
国際誕生	2013年10月

販売名：クレナフィン爪外用液 10%

貯法：室温保存、遮光した気密容器 火気を避けて保存すること

使用期限：外箱及びラベルに表示

注意：【取扱い上の注意】の項参照

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

有効成分	1g中にエフィナコナゾール100mgを含有する。
添加物	デカメチルシクロペンタシロキサン、 アジピン酸ジイソプロピル、 乳酸アルキル（C12-C15）、 ジブチルヒドロキシトルエン、無水クエン酸、 エデト酸ナトリウム水和物、エタノール
性状	無色～微黄色澄明の液である。

【効能・効果】

〈適応菌種〉

皮膚糸状菌（トリコフィトン属）

〈適応症〉

爪白癬

〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

- 直接鏡検又は培養等に基づき爪白癬であると確定診断された患者に使用すること。
- 重症患者における本剤の有効性及び安全性は確認されていない。

【用法・用量】

1日1回罹患爪全体に塗布する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤を長期間使用しても改善が認められない場合は使用中中止を考慮するなど、漫然と長期にわたって使用しないこと（48週を超えて使用した場合の有効性・安全性は確立していない）。

【使用上の注意】

1. 副作用

第Ⅲ相試験（国際共同及び海外試験）における安全性評価対象例1227例（日本人患者184例を含む）中、副作用（臨床検査値異常を含む）の発現症例は78例（6.4%）であった。その主なものは、適用部位にみられ、皮膚炎26例（2.1%）、水疱18例（1.5%）、紅斑9例（0.7%）、そう痒、異常感覚、腫脹、疼痛、皮膚剥脱各7例（0.6%）、爪甲脱落4例（0.3%）等であった。なお、日本人患者（184例）での副作用発現症例は17例（9.2%）であり、その大部分は適用部位の皮膚炎15例（8.2%）であった。（承認時）

以下のような副作用が認められた場合には、必要に応じ適切な処置を行うこと。

分類	頻度	1%以上	0.10～1%未満
適用部位（投与部位）	皮膚炎、水疱	紅斑、腫脹、疼痛、そう痒、皮膚剥脱、異常感覚、爪甲脱落、変色、湿疹	
その他		鼻咽頭炎、頭痛	

2. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

- (1) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕
- (2) 授乳中の婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
〔動物実験（ラット皮下投与）で乳汁中へ移行することが報告されている。〕

3. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない（使用経験がない）。

4. 適用上の注意

患者に対し、次の点に注意するよう指導すること。

- (1) 本剤は抗真菌薬のため、新しい爪が伸びてこない限り、一旦変色した爪所見を回復させるものではない。このため、治療には相応の期間（爪が生えかわるまでの期間）が必要になること。
- (2) 爪白癬の原因菌は爪甲及びその下の皮膚に存在するため、この部位に薬剤が行きわたるよう皮膚との境界部も含め爪全体に十分に塗布し、周囲の皮膚に付着した薬剤は拭き取ること。
- (3) 適用部位周辺に傷口がある場合には注意して使用すること。
- (4) 爪白癬の罹患爪以外には使用しないこと。
- (5) 必要に応じてやすりや爪切り等で罹患爪の手入れを行うこと。
- (6) 治療中の爪には化粧品等を使用しないこと。
- (7) 眼科用として角膜、結膜には使用しないこと。誤って眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。
- (8) 保存及び使用の際には火気を避けること（【取扱い上の注意】の項参照）。

【取扱い上の注意】

- (1) 開封後はしっかりとキャップをしめ保存すること。
- ※(2) 開封後12週間経過した場合は、残液を使用しないこと。
- (3) 本剤は可燃性であるため、保存及び使用の際には火気を避けること。
（第一石油類 危険等級Ⅱ 水溶性 火気厳禁）

※※【包装】

3.56g（4mL）×5、10
7.12g（8mL）×5

【文献請求先及び問い合わせ先】

科研製薬株式会社 医薬品情報サービス室
〒113-8650 東京都文京区本駒込二丁目28番8号

Ⓒ登録商標

※※2022年3月改訂（第6版）

※2018年9月改訂（第5版）



製造販売元
科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込二丁目28番8号